



妊娠糖尿病妊婦における分娩誘発が分娩転帰および早期新生児予後に与える影響

2018年1月1日から2024年8月31日までに妊娠糖尿病と診断され、日本医科大学付属病院女性診療科・産科で妊娠37週以降に分娩された妊婦さんへ

研究協力をお願い

当科では「妊娠糖尿病妊婦における分娩誘発が分娩転帰および早期新生児予後に与える影響」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2018年1月1日より2024年8月31日までに日本医科大学付属病院女性診療科・産科にて、妊娠糖尿病と診断され、当院で妊娠37週以降に分娩された妊婦さんの症状の経過と新生児の早期予後を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただき、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：妊娠糖尿病妊婦における分娩誘発が分娩転帰および早期新生児予後に与える影響

研究期間：研究実施許可日～2027年3月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 女性診療科・産科 講師 角田陽平

(2) 研究の意義、目的について

【妊娠糖尿病について】

妊娠糖尿病は、妊娠中に初めて発見される血糖値の異常（糖代謝の異常）のことです。この病気は、妊娠中や出産時にいくつかのリスクを高める可能性があります。例えば、以下のようなリスクがあるとされています：

- 肩甲難産：新生児の頭が産道から出た後、肩が引っかかって出てこない状態
- 帝王切開による出産の可能性の増加
- 新生児が大きく育ちすぎる（巨大児）
- 生まれたばかりの新生児で低血糖や黄疸、呼吸の問題（呼吸窮迫症候群）が起こる可能性
- 出産時に新生児がけがをするリスクの増加

妊娠糖尿病の場合、妊娠37週以降に分娩を誘導する（計画的に陣痛を起こす）ことで、以下のようなメリットがあると考えられています：

- 帝王切開の必要性が減る
 - 巨大児が生まれるリスクや、出産時の大きな会陰裂傷（出産時の膣やその周辺の大きな裂け傷）のリスクが減る
- ただし、分娩誘発が妊娠糖尿病の妊婦さんや新生児にどのくらい効果があるかについては、はっきりした証拠はまだ十分ではありません。

【本研究の目的】

この研究では、妊娠糖尿病のある妊婦さんにおいて、分娩誘発がどのように出産の経過や新生児の健康状態に影響を与えるかを詳しく調べます。これにより、妊娠糖尿病の妊婦さんに対する分娩誘発の効果について、将来的により確かな証拠を得ることを目指しています。また、この研究は母体と新生児の安全を守るための新たな方法を考える上で、大切な意義があります。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2018年1月1日より2024年8月31日までに日本医科大学付属病院女性診療科・産科にて、妊娠糖尿病と診断され、当院で分娩された妊婦さんの経過と新生児の早期予後を解析し、分娩誘発群と自然待機群についての比較検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：【母体】 年齢、経産数、計画分娩の有無、分娩誘発開始週数、分娩週数、妊娠前BMI、分娩前BMI、体重上昇（kg）、喫煙、飲酒、50g グルコースチャレンジテストの結果、75g ブドウ糖負荷試験の結果（空腹時、1時間値、2時間値）、分娩直前のインスリン単用量、妊娠高血圧症候群の有無、合併症、分娩様式、帝王切開、器械分娩（吸引分娩や鉗子分娩）、帝



王切開の適応、Bishop score（子宮頸管の熟化を示すもので分娩誘発の反応性を示します）、診断時と分娩直前のHbA1cとグリコアルブミンの値、肩甲難産の有無、高度会陰裂傷の有無、母体の身長、産後出血量、輸血の有無。

【新生児】 出生体重、NICU入室、新生児呼吸窮迫症候群、新生児一過性多呼吸、低血糖、黄疸（光線療法を行った）、臍帯血動脈pH、Apgar score（1分値と5分値）、新生児の損傷

（4）個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

（5）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

（6）問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 女性診療科・産科 講師 角田陽平
〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5
電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：27614
メールアドレス：y-tuno@nms.ac.jp